

—ASABU 5又路—

5又路

2009.6.1 No.134号 (創刊1981.7)



交通安全キャンペーン行列
 北海道警音楽隊の先導で祭り会場のダイエーとJR新琴似駅をパレードした「ちびっこみこし」の場面、麻生で最初の神輿渡御(みこしとぎょ)も続きました。当時の浅井建爾連絡所長や藤田之雄連合町会長の姿も写る「あさぶ祭」19年前の記録です。
 5又路では昔の麻生を探しています。写真や資料の提供をお待ちしています。

元気で/安心な/憩える麻生を目指して

ますます顕著になる少子高齢化や商店街の空洞化に加え、都市化へと変貌を重ねる麻生が取り組む課題は治安回復や防災対策などと少なくありませんが、自分たちの手で街をつくる潮流はしっかりと大きなうねりになりそうです。

筒井肇会長率いる連合町内会は、防災避難体制の整備や10月からの「まちづくりセンター」自主運営を目指して精力的な活動を進め、商店街も西田清英理事長が念願の防災警防組織を発足させ、7月7日「七夕」の日に空き店舗の解消と地域活性を図る事業がスタートします。

町内会と商店街が目指す「元気な麻生づくり」の成否に、地域の力強い賛同と支援は欠かせません。地域コミュニティの担い手としての自負も新たに、麻生商店街振興組合と「NPO 法人子育て支援ワーカーズ・プチトマト」が協働する「あさぶ商店街地域力アップ事業」にご期待と絶大な声援をお寄せください。

事業場所となる高橋ビル(麻生6丁目、1階セブンイレブン)には、「プチトマト」と「緊急さぼねっと」の事務所も開設します。

麻生のたまり場オープン!

あさぶ商店街地域力アップ事業のご案内

- ①**三世代交流カフェ**：大きな窓から眺める街の様子に感激！車椅子でも来店戴ける「麻生のたまり場」を目指します。おしゃべりもお楽しみください！コーヒー250円、営業は10時から17時、日曜祝祭日は定休。
- ②**スポット保育**：買い物や美容院・病院・カルチャー教室などに通う際にもご利用を！経験豊富なスタッフがお待ちしております。ご利用は1時間1,000円。
- ③**レンタルルーム**：趣味やグループの会合、懇談・会議場所にご利用ください。短時間使用や終日催事も可能です。使用料金は2時間1,000円。

*ご利用申込みや問合せはTEL707-9923・あさぶ商店街
 同じ場所に開設します。

NPO 法人子育て支援ワーカーズ・プチトマト TEL706-1152

訪問保育や子育て講座・イベントなどが活動主体です。育児相談などもお気軽に!

緊急さぼーとネットワーク北センター TEL758-4755

病気で保育園に行けない時や急な残業・出張の時、お子さんを預かる会員組織です。

ご声援お願いいたします!

NPO法人子育て支援ワーカーズプチトマト 喜多 洋子
 プチトマトは、互いに支えあい心豊かに子育てできる地域社会をつくることを目指して、今年で15周年

を迎えます。ご自宅に伺い、お子さんをお預かりする子育て家庭支援事業と地域で孤立している親子のために講演会や託児つきの“ママのためのリフレッシュ講座”開催などが主な活動です。

数年前に麻生3丁目に拠点を設け、商店街や町内会の方たちとのまちづくり活動を通じて学んだことは、子育て中の親子はもちろん、様々な世代の人たちが集える場所があったら、地域が豊かになるのではとの思いでした。

その願いが、あさぶ商店街さんの心強いご理解を得、協働して「三世代交流カフェ」や「スポット保育」などをスタートすることになりました。

交流場所の名前は、亜麻にちなんで『café 亜麻人』、カフェ・アメントと読みます。赤ちゃんを抱いたお母さんやお孫さん連れのお祖父ちゃん・お祖母ちゃんが気軽に立ち寄っておしゃべりしたり、お茶を飲んだりできる場所に良質な木のおもちゃコーナーや授乳コーナーも用意する予定です。

カフェを“地域になくってはならない場所”として、地域の皆さんと共に創りあげられたらすてきな!と思います。さまざまな人と人をつなげ、そのつながりを大切に、地域の新たなコミュニティを創っていきたいと思っています。

オープンに向けて、不要のコーヒーカップや湯のみ茶碗、お皿、スプーンなど譲っていただくと助かります。カフェの協賛会員(一口3,000円)もお願いしています。

また、ボランティアスタッフも募集中!人と話のが好きな方、一緒にカフェを運営しませんか

☎706-1152で連絡お待ちしております!!!

今年の麻生は亜麻で溢れそう?

街並み美化を図る「麻生の花・亜麻のフラワーロード構想」は、亜麻仁油の原料となる種子用亜麻を栽培している当別町とも連動する「平成21年度元気なまちづくり支援事業」として5月31日にスタートしました。

「種子用亜麻」を栽培している当別町と「多年草亜麻」を植栽する札幌駅北口の北7条通りにリネン繊維を採る「一年草亜麻」栽培の麻生が加わって、学園都市線を亜麻で結ぼうと、北区地域振興課が昨年からの計画です。

JR新琴似駅前と山晃ビル(北40西5)からローソン(北39西5)までは新琴似町内会や麻生駅前町内会が多年草の観賞用亜麻を担当しますが、ZIPから道銀までは商店街とふらっくす倶楽部が一年草亜麻を育てます。

種からの栽培ですが、可愛らしい双芽から60日頃には開花する生育を楽しみませんか?繊維用亜麻の開花は昼ごろまでに散ってしましますが、かつて盛んだった亜麻産業の歴史を伝える姿は可憐です。

必ず身近な誰かに必ず相談!「振り込め詐欺・架空請求詐欺」厳戒警報発令中!

亜麻和紙で素敵な名刺作りませんか？TEL707-5554・麻生名刺店(麻生5)

★おめでとう!麻琴会★

「あさぶ祭」に彩を添える神輿の町内渡御と道内外の各みこし仲間も応援に駆けつけて、麻生の祭りを祝ってくれる毎年恒例の会場練り込みは拍手と歓声で沸き立ちます。

地域を元気に！祭りを盛り上げよう！との心意気で神輿を担いできた麻生の神輿会・「麻琴会・まこと」が歴史を刻むのは20年前に遡ります。

第1回「あさぶ祭」の余韻が残る平成元年の秋、「来年の祭りまでにシンボルとして麻生の神社を…」と動き出した頃合いに、新琴似「社会・やしろかい」から神輿の誘いがありました。早速に「麻生みこし発起人会」を招集、翌年2月には半纏などの備品を寄付金で揃え、麻生で初めての「神輿渡御」を成功させよう！神輿を担いだ経験者の少ないにも拘らず、馳せ参じたメンバーの意気込みは早くも高まりました。

かつては新琴似だった麻生の歴史と亜麻工場時代にあった「マコト神社」などが名前の由来です。

祭りの当日。借り物の神輿と各地のみこし仲間の応援



①餅まきで最高潮*ダイエー前・あさぶ祭会場



③祭り会場へ向かう麻琴会神輿の町内渡御(とぎよ)

も仰いで、JR 新琴似駅前からの行程は交通安全協会会長の先導とパトカー2台に守られての初体験でした。拍子木と微妙に合わない担ぎ方や神輿の練り具合を何度も直され、商店から戴く御祝儀に感激しながら、果てには祭り会場の直前で中止指導を受けるなど全員が興奮と緊張の連続でしたが、「どんぶり酒」が恒例の「直会」に酔いしれる誰もが輝いていました。

「北海道神輿協議会」に参加した平成4年には、新琴似神社総代の経歴を持つ樋口邦弘氏から神輿の寄贈を受け、遠くは函館や網走・羽幌など各地の神輿担ぎに参加する活躍は今では道内神輿仲間「麻生・麻琴会」として知られます。

20年おめでとう！これからも麻生の元気を担いでください。

麻琴会新年度役員	歴代会長	頭(かしら)
会長：西本敏明	初代：永倉吉裕	黒川弘基
副会長：久保幸治	2代：千葉敬師	西本敏明
頭：久保幸治	3代：西本敏明	池田義高
副頭：松山良子	4代：久保幸治	
事務局長：東郷健治	TEL・FAX：300-0737	



②西本敏明会長の勇姿*麻生緑地・あさぶ祭会場



④応援の神輿仲間と三本締め

YOSAKOI ソーラン祭りの会場で踊り子さんの声援を終えると「ベルヴェユ麻生」に何う予定です。今年も麻生の何処かで貴方に会えることを楽しみに、ケッパリます！

賽銭箱に寄せられた浄財は麻生連合町内会に寄贈いたしました。

麻生けっぱれ地蔵の行程(昨年3月31日から)五差路→原田歯科→麻生郵便局→ダイエー→黒川宅→YOSAKOI 麻生会場→黒川宅→グラン亜麻→五差路→あさぶ祭会場→樋口宅→居酒屋いずみ→樋口宅→インベリアル麻生

今年も元気目指して、けっぱれ!

「麻生けっぱれ地蔵」は初めての冬を、麻生交番の斜め向い・樋口さん宅の木の下で雪にまみれることも無く無事に過ごしました。

サンタさんの衣装を着たり、マフラーを巻いたりの格好で道行く人に手を合わせて戴きましたが、残念で悲しかったのは設置作業の手伝いなど何かとお世話してくれた樋口 勉さんの逝去です。春を迎えることなく旅立たれた故人のご冥福をお祈りいたします。

さて、4月中旬からは「インベリアル麻生」に移り、

あさぶ祭も20回を迎えます!

1989年に開催された第44回国民体育大会は、北海道を舞台にした冬・夏・秋季の完全国体でした。テーマである「はまなす国体」の炬火リレーが麻生を通るニュースを聞いた「にゅう・あきんどくらぶ」(当時、商店街の若手グループ)のメンバーは、麻生独自の祭りを創ろうと、わずか1ヶ月の準備期間で「第1回あさぶ祭」を見事に成し遂げました。

ダイエー麻生店広場を会場に1日限りのイベントでしたが、それまで「あさぶ盆踊り」が唯一の祭りだった麻生の人達に故郷への愛着心を呼び起こしたのでしょうか。翌年には、交通安全協会やダンスサークルなどの地域団体も加わり、交通安全をテーマにした道警音楽隊とカラーガード隊によるパレードと演奏会や民謡・カラオケ大会などの多彩なプログラムの祭りスタイルが整いました。

3年目のテーマは「エコロジー」。青年会議所とも連携して、商店街各所に空き缶や新聞紙・ダンボールを回収する「かえるBOX」を設置して「エコロジーキャンペーン」を6月から展開、17年続いた「あさぶ盆踊り」が夜のプログラムに加わり、前夜祭のダンスパーティーや赤十字献血キャンペーンも人気の常連催事となりました。

地域愛着を絆に街活性と親睦を深めようとの願いは、商店街と連合町内会が共催する麻生最大のイベントに発展し、順調に継続を重ねましたが、7回目の平成7年は残念ながら中止の憂き目に会ってしまいます。

そして、復活を果たしたのは「街づくり委員会」の地域を盛り上げようとする情熱でした。祭り案内に用いられる文言は変わらずに受け継がれています。

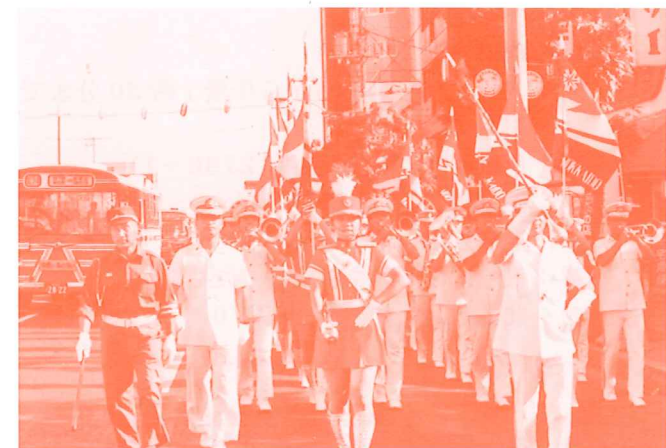
「かつては隆盛を誇った亜麻産業発祥の地・麻生。活力と希望に満ちた、愉快で快適な暮らしを約束してくれる街に育てたい…。培われた歴史を大切に受け継ぎ、次代に残る麻生の祭りを創りたい…。」

会場を「麻生緑地」に定め、各町内会が協力して緑日参加する地域祭りは今年で20回の節目を数えます。

第2回あさぶ祭でちびっ子みこしを担いだ子ども達も今では成人をとっくに超えたでしょう。今年の日程は8月1・2日、道警音楽隊のパレードが彩りを添える記念企画も進行中です。必ずご来場のほどを!



①トーチ点火した麻生保育園の子ども達



②颯爽と行進する道警音楽隊



③最優秀標語も紹介する祭り看板



④女性部による「麻生音頭」の披露

俳花壇

《東 鉄幹》

ベタル踏む桜吹雪の風の中
 轉りの影の走りし石畳
 水走る雑魚に五月の日が踊る
 むらさきの影置くつつじ石舞台

《亜 矢 女》

逆光の風の掌の中露のたう
 春昼の半眼となり牛の貌
 突風に軽鴨の子の列乱れ
 街灯の尽きて明るき花の闇

元気に神輿を担ぎませんか?仲間募集! 麻琴会事務局・TEL300-0737(東郷)

亜麻祭り

皆で麻生の旬を発信しよう！麻生ネットワーク www.asabu.ne.jp

ベンチャー事業の立上げを社命で受けた若者が「ふらつくす倶楽部」を訪ねたのは、今から8年前。熱心な探求が実り、平成16年に「亜麻仁油」を販売する「亜麻公社」を興しました。

種子用亜麻の栽培は当別町の大塚農場などに委託していますが、群舞する亜麻の開花期に畑を訪れる方が増えてきたことから、昨秋には「亜麻祭り」を企画、多くの来場者で賑わいました。

2回目の今年は可憐な花を観賞して貰おうと、開花時期に合わせた朝早くからの催しです。麻生の「亜麻そば」も参加の予定です。ご声援に当別町の会場へお越しください。

第2回亜麻祭り

日 時：7月5日午前7時から午後1時30分まで
 ※雨天決行
 会 場：旧東裏小学校(当別町 2796-1)
 催 事：亜麻畑見学、春野菜直売、
 亜麻仁油・ドレッシング特売、亜麻そば
 入場料：無料。カメラはお持ちください。
 問合せ：北国生活社 ☎887-7970



第22回全国健康福祉祭 北海道・札幌大会
ねんりんピック北海道・札幌2009
 平成21年9月5日(土)～8日(月)
 ねんりに 夢を大志を 青春を

「ねんりんピック」第22回大会は北海道と札幌市が共催、9月5日～8日まで全道13市3町で21種目の交流大会が行われ、参加者は約50万人と予想されています。

主な競技はスポーツ(マラソン・卓球・弓道・ペタンクなど10種目)・ふれあい(パークゴルフ・ウォークラリーなど8種目)・文化(囲碁・将棋・俳句の3種目)など、60歳以上の高齢者を中心とする総合的な祭典です。

札幌市の開催は6日～7日、グラウンド・ゴルフの「東区つどいむ」、剣道の「真駒内アイスアリーナ」、サッカーは「札幌ドーム」、水泳は「平岸プール」が競技会場です。

フラダンスやマージャン・百人一首などの協賛イベントも行われます。

詳しくは、ねんりんピック北海道・札幌2009 実行委員会事務局(直通電話：204-5252)
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/npc/home.htm>

おかげさまで9月に達成の予定です。

交通事故死ゼロ3000日を目指して!!

ストップ・ザ・交通事故死

～めざせ!安心で安全な車社会 麻生町～

麻生地区交通安全実践会 札幌方面北警察署・あさぶ商店街

麻生義造じいさん 物語 作・ていけん



編集後記

例年より早い桜の開花に心浮かれた春も過ぎ、虫歯予防月間の6月は北国の自然が緑に衣替えする時候です。さあ!屋外に飛び出して、元気を貰いに歩きましょう!若さ溢れる踊り子さんやスクスク伸びる亜麻からのお裾分けも戴きに…。

5又路・134号 平成21年6月1日発行
 麻生商店街振興組合 ☎707-9923
 〒001-0040 札幌市北区北40条西5丁目山晃ハイツ301
 Eメール: asabusyo@minos.ocn.ne.jp